

500人?

今年度も4月5月と図書館ガイダンスは盛況でした。フレッシュマン・セミナーで21コマ、およそ450名以上の新生に、「新・図書館の達人」ビデオの視聴と、検索端末JOLISの使い方を実習していただきました。また、図書館主催のJOLIS講習会には43名の方が来てくれました。

JOLISの使い方はもう分かりましたか？この機会を逃してしまった貴方、貴女。まだ間に合います。今月はJOLIS利用強化月間です。1階カウンターに問い合わせして下さい。その場で講習するか、あるいは時間を決めて講習します。前期試験のときに慌てないように、是非マスターしてしまいましょう。

多くの皆さんに図書館を利用していただくように、これからも、いろいろな講習会を企画しますので是非参加して下さい。参加した人だけが得します。

NDCって何？

「日本十進分類法」のことで略してNDC

とよびます。Melvil Dewey, 1851-1931の創案した「デュイ十進分類法」(1876年初版)に基づき、日本の図書館に適するように手を加えて、もり、きよし(森清, 1906-)が昭和3年に発表した図書分類法です。日本の図書館の多くはこれを使用しています。

NDCは、10区分、100区分、1000区分と、どこまでも展開することができます。そして、3桁めに小数点がつきます。また、形式区分、地理区分、言語区分などを組み合わせることもできます。あらゆる図書の主題(内容)を9区分すると、**1 哲学、2 歴史、3 社会科学、4 自然科学、5 技術、6 産業、7 芸術、8 言語、9 文学**

となります。そして、各区分にまたがる総合的な著作物、例えば百科事典など、9個のいずれにも分類できない図書・資料は**0(ゼロ)**になります。例えば**経済**の本は社会科学の中の**330**に、**金融**の本は**338**とだんだんに細分化された分類になります。そしてこの分類と著者名などを組み合わせて**請求記号(本の背中に貼ってあるラベル)**が決まり、書架に並びます。

一般的な和図書と辞書類は、**7 芸術、8 言語、9 文学**の本は**2階**に、それ以外は**3階**にあります。

図書館1階の閲覧席の壁に**NDC綱目表**がありますので参考にして下さい。またカウンター前の

インフォメーションにもプリントが用意してありますので利用して下さい。

BDSが鳴った！！

図書館の入口のゲートには、ブック・デテクション・システムが取り付けられています。これは、無断持ち出し防止装置で、カウンターで貸し出し手続きをしないで持ち出そうとするとブザーが鳴ります。そしてゲートはロックされて、外に出られません。

図書館の資料を外に持ち出すときは、必ず1階カウンターで貸し出しの手続きをしてください。手続きを忘れてブザーが鳴ったら、カウンターまで戻ってください。

図書館の資料以外に反応してブザーが鳴ることもあります。梅雨時などは傘で鳴ることもあります。そのときは、何に反応するのか確認させていただきますので、ご協力お願いします。

大学院生のための文献取り寄せ講座

文献依頼の申し込み方、略タイトルの調べ方、誌名変遷の調べ方、所蔵館の調べ方など、どうしたら早く学外文献を入手できるかの講習会です。院生だけでなく、学部生もどうぞ参加して下さい。

日時：6月15日(月)と16日(火)

PM. 3:30 ~ 4:30

場所：3階グループ学習室

注意！！

携帯電話のスイッチは切ってから入館してください。
また館内は飲食禁止です。

休館日のお知らせ

7月6日(月)は定期休館日です。



応援しようワールドカップ